



力士塚

相撲は、古代日本の宮中行事の一つでした。戦国時代、貴族の都落ちによって京都の文化が全国に広がり、その中に相撲を本職として生計を立てる相撲人が出現しました。

また、神社仏閣の建築修復の資金調達のための興行（勧進）や、神社の祭礼の際に相撲が行われることが多かったことから、これらを「勧進相撲」と称して興行が行われました。

因幡地方は古くから相撲が盛んな地で、「因幡に行きて小角力（こずもう）とるな、出雲で小謡唄うな、作州で小棒ふるな」という諺もあります。

賀露も、多くの相撲人を輩出しています。「ひょうたん」という民話は、賀露町出身の力士「山野井鷲之助」がモデルです

民話「ひょうたん」

賀露の大力（強い力のある人）が、砂につけた足跡が「ひょうたん」に似ていることから、その男は「ひょうたん」と呼ばれ、鳥取藩のお抱え力士になりました。

江戸で他国の力士と相撲をとった時、相手力士が禁じ手を使ったため、ひょうたんは相手の首を捻って殺してしまいました。

これに怒った相手力士の殿様は、ひょうたんを殺そうと賀露に帰る道中の茶店に毒飯を準備させました。これを食べたひょうたんは病気になり、二十八歳で病死したそうです。

「ひょうたん」こと山野井鷲之助は子どもの頃から力が強く、地引網の一方を一人で受け持ったといわれています。因州鳥取藩池田家のお抱え力士で、佐渡が嶽部屋に入門し、関脇まで出世しましたが、若くして亡くなりました。東善寺には、山野井鷲之助も含めて賀露ゆかりの力士の功績を称える力士塚が十四基と船問屋竹田與平塚の計十五基が並んでいます。

【賀露・晩稲の力士塚】

- ・東善寺門前：大和川久太郎、山野井鷲之助、磯ヶ島直右工門、志賀ノ浦浅次良、大和川徳五郎、濱柳文七、留碇甚七、大和川徳四郎、山嵐安五郎、濱柳吉五郎、響灘作五郎、響灘久四郎、浜柳兵一、木村鹿之助
- ・賀露町北四丁目新道入口：今錨米吉
- ・晩稲公園隣接地：豊島新平



出典

賀露地区公民館ホームページ

(参考) 賀露・晩稲の力士塚

- ・名 称 今錨米吉之塚
- ・所 在 地 賀露町北四丁目（新道入口）
- ・造立年代 昭和 36 年（1961）8 月 21 日
- ・銘 文

正面 今錨米吉之塚

右面 昭和廿六年八月廿一日建立

背面 主催 賀露町六区

後援 今錨後援会 賀露婦人会 同青年団 鳥取古市二区

石工 西村常松



- ・備 考

因幡地方最後の横綱といってよい。戦後、宮相撲・因伯相撲で活躍。昭和 36 年顕彰碑を建立。

（H24. 10. 27 賀露町歴史探訪Ⅱ）

- ・名 称 大和川久太郎塚
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前） ※令和 6 年 7 月神社下から移転
- ・造立年代 昭和 26 年（1951）9 月
- ・銘 文

正面 大和川久太郎塚

右面 昭和二六年九月 世話人一同 青年会一同



- ・備 考 久光丸・宮根の祖、戦後の因幡地方で強い横綱であった。化粧回しが最近まで、宮根家に保存されていた。昭和 26 年に後援会・有志が顕彰碑を建立した。（H24. 10. 27 賀露町歴史探訪Ⅱ）

- ・名 称 山野井鷲之助
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 文政 5 年（1822）6 月 2 日
- ・銘 文

正面 山野井 南無阿弥陀仏 鷲之助

右面 文政五壬午年六月二日 當村中



- ・名 称 磯ヶ島直右工門
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 文政 11 年（1828）年 12 月 6 日
- ・銘 文

正面 文政一一戊子年 磯ヶ島直右衛門 一二月六日



- ・名 称 志賀ノ浦淺次良
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 天保5（1834）年11月8日
- ・銘 文
正面 天保五午年 志賀ノ浦淺次良墓 霜月八日



- ・名 称 大和川徳五郎
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 安政6年（1859）年7月1日
- ・銘 文
正面 安政六年未七月朔日 大和川徳五郎
世話人 大和川徳四郎 豊島新平



- ・名 称 濱柳文七
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 明治6年（1873）8月2日
- ・銘 文
正面 癸酉八月二日 濱柳文七 明治六年
背面 世話人 門弟中



- ・名 称 留碇甚七塚
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 明治7年（1874）9月上旬
- ・銘 文
正面 留碇甚七塚
右面 明治七年申戌九月上旬建
左面 世話人 豊島新平 浜湊徳四郎



- ・名 称 大和川徳四郎塚
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 明治32年（1899）旧9月
- ・銘 文
正面 大和川徳四郎塚
右面 明治三二年旧九月建立
左面 世話方 青年会員 世話人 豊島新平 濱湊徳四郎



- ・名 称 山嵐安五郎塚
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 明治 33 年（1900）旧 11 月日
- ・銘 文

正面 山嵐安五郎塚
 右面 明治三三年旧一一月日
 左面 世話方 當村第一区青年会
 石工 岩田儀市



- ・名 称 濱柳吉五郎塚
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 明治 43 年（1910）3 月日
- ・銘 文

正面 濱柳吉五郎塚
 右面 明治四三年三月日建立



- ・名 称 響灘作五郎塚
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 大正 4 年（1915）6 月吉日
- ・銘 文

正面 響灘作五郎塚
 背面 大正四年六月吉日
 世話人 石船連中
 世話人 第一支部青年会



- ・名 称 響灘久四郎塚
 - ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
 - ・造立年代 昭和 11 年（1936）12 月
 - ・銘 文
- 正面 響灘久四郎塚 鳥取懸角力協会取締役
 右面 昭和一一一年一二月 発起人 朋友一同有志
 世話人 第一区青年会
- ・備 考 山根滋子氏祖先 化粧回しは東善寺へ



- ・名 称 浜柳兵一塚
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 昭和 11 年（1936）12 月
- ・銘 文
 - 正面 浜柳兵一塚
 - 右面 昭和一一一年一二月
 - 左面 発起人 朋友一同 世話人 第一区青年会



- ・名 称 木村鹿之助塚
- ・所 在 地 賀露町（東善寺門前）
- ・造立年代 昭和 11 年（1936）12 月
- ・銘 文
 - 正面 木村鹿之助塚
 - 東京大角力尾車文五郎之門弟子 因伯乃行司頭ヲ許可サル
 - 背面 昭和一一一年一二月 発起人 朋友一同 世話人 第一区青年会



- ・名 称 豊島新平塚
- ・所 在 地 晩稲
- ・造立年代 明治 32 年（1899）8 月
- ・銘 文
 - 正面 豊島新平塚
 - 右面 明治三二年八月 世話人 晩稲村 中老中・若連中



参 考

- ・その他の東善寺門前設置塚
 - 名 称 竹田與平塚（船問屋）
 - 造立年代 明治七年十月



- ・設置塚数合計

東善寺門前設置塚数	十五基	うち力士塚十四基
その他賀露町内設置力士塚数	一基	
晩稲内設置力士塚数	一基	

引用資料

- ・因州鳥取の角力取 鳥取市青谷郷土館
- ・鳥取ゆかりの力士たち 油野利博
- ・賀露の石碑探訪
- ・賀露町歴史探訪Ⅱ（H24. 10. 27）